

わたしの

ロング・ステイ・ストーリー

Vol. 2



Hiroshi Tsukano

束野 浩

出身：鹿児島県

年齢：66歳

ロングステイアドバイザー



■ロングステイを始めたきっかけ

私が初めてロングステイを意識したのは、2012年（平成24年）8月のことです。タイのチェンマイで5か所のホテルに宿泊し、どのエリアが生活しやすいかを調査しました。以来、毎年1か月程度チェンマイでロングステイを楽しんでいます。（※コロナ禍を除く）

■ロングステイを決めた理由

60歳で定年を迎えた後、年金を受給できる65歳までの間をどのように暮らすかを考えたのがきっかけでした。現役時代は大手Sier（システムインテグレーター）の金融機関向け営業を担当し、早期退職後はフィナンシャル・プランナーとして活動しています。

■ロングステイ中の生活

季節に応じて住む場所を変え、夏は涼しい地域、冬は東南アジア、春と秋は地元福岡に滞在しています。健康を維持しながら、夫婦でロングステイを楽しむのが私たちのライフスタイルです。

■現地での活動

チェンマイでは、食べ歩きやゴルフ、卓球を楽しんでいます。また、毎朝ジムで運動をし、健康管理にも気を配っています。

■ロングステイでのトラブル・課題

ロングステイにはトラブルもつきものです。例えば、ビザの滞在期間を勘違いし、急遽航空券の変更が必要になったことがあります。また、シドニー空港では国際線から国内線への乗り換えに戸惑い、英語が通じず、ぎりぎりでの搭乗できた経験もあります。事前の情報収集の大切さを痛感しました。



■1か月の生活費（2025年1月～2月 チェンマイ滞在）

夫婦2人で1か月間滞在した際の費用は約40万円でした。

・航空券代：20万円（福岡～チェンマイ、台北経由 チャイナエアライン往復2名分）

・コンドミニアム代：10万円（29泊30日、68㎡、週1回清掃・設備費込み）

・食費・電気代・娯楽費：10万円

■これからロングステイを考えている方へ

ロングステイは、新しい文化や価値観に触れながら、自由に充実した時間を過ごせる魅力的なライフスタイルです。初めは不安もあるかもしれませんが、準備をしっかり行い、少しずつ慣れていけば、きっと素晴らしい経験になります。ぜひ一歩踏み出してみてください。

■他のロングステイ希望地

チェンマイ以外では、バンコク、ペナン島、プーケット島、ホーチミン、ダナン、クアラルンプール、コタキナバル、ソウル、釜山、台北、花蓮などにも興味があります。